



3x3 JAPAN TOUR 2025 U23 Category

Pre-Season Games

報道資料

(2025/05/11)

1. 3x3日本代表チームに関する活動方針

- LA2028に向けた中期計画 -

◆FIBA 3x3 承認大会

- ・FIBA承認大会は大会規模・レベル等に応じ、10段階にクラス分けされている
- ・大会のグレードや成績に応じ、出場選手個人にポイントが付与される
- ・高グレードの (=付与ポイントが高い) 大会はプロツアー(男子)、ウィメンズシリーズ(女子)、ワールドカップ(NF)などの国際試合が占め、日常的な世界的活動がポイント獲得のカギとなる

◆NFポイント / NFランキング

- ・国内TOP20の個人ポイントの合算＝NFポイントとしてNFランキングを算定する
- ・オリンピック出場4選手のうち、少なくとも2選手は国内トップ10選手のなかから選出しなければならない

◆オリンピック出場への道は 4 ルート (※次ページにイメージ図)

- ① ストレートインによる予選免除 ※出場権獲得＝3チーム
※開催国枠適用の可否はFIBAセントラルボードにより決定
- ② UOQT1 (ユニバーサリティオリンピック予選 1) ※出場権獲得＝1チーム
※LA2028に関し、日本にUOQT1への出場権なし
- ③ UOQT2 (ユニバーサリティオリンピック予選 2) ※出場権獲得＝1チーム
- ④ OQT (オリンピック予選) ※出場権獲得＝3チーム

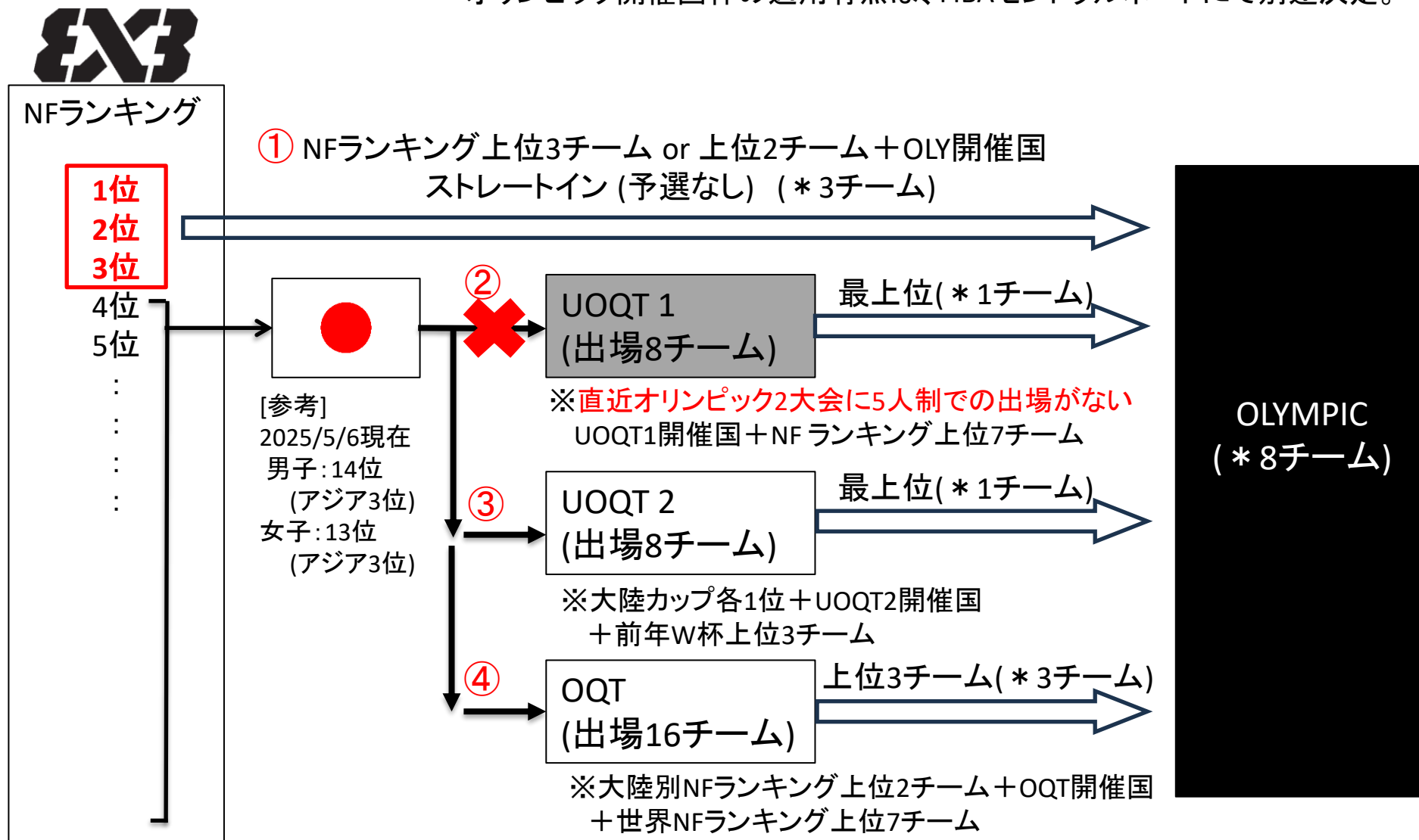
オリンピック出場
合計8チーム
(東京 / パリ)

◆LA2028大会より、出場国の 8→12 チームへの引き上げが決定

2025年4月9日に IOC より LA 2028 での 3x3 出場国数引き上げ (8→12) が発表されたが、予選方式は未発表。FIBAの世界戦略の関係上、出場権獲得フローの大枠は維持されるものと推察

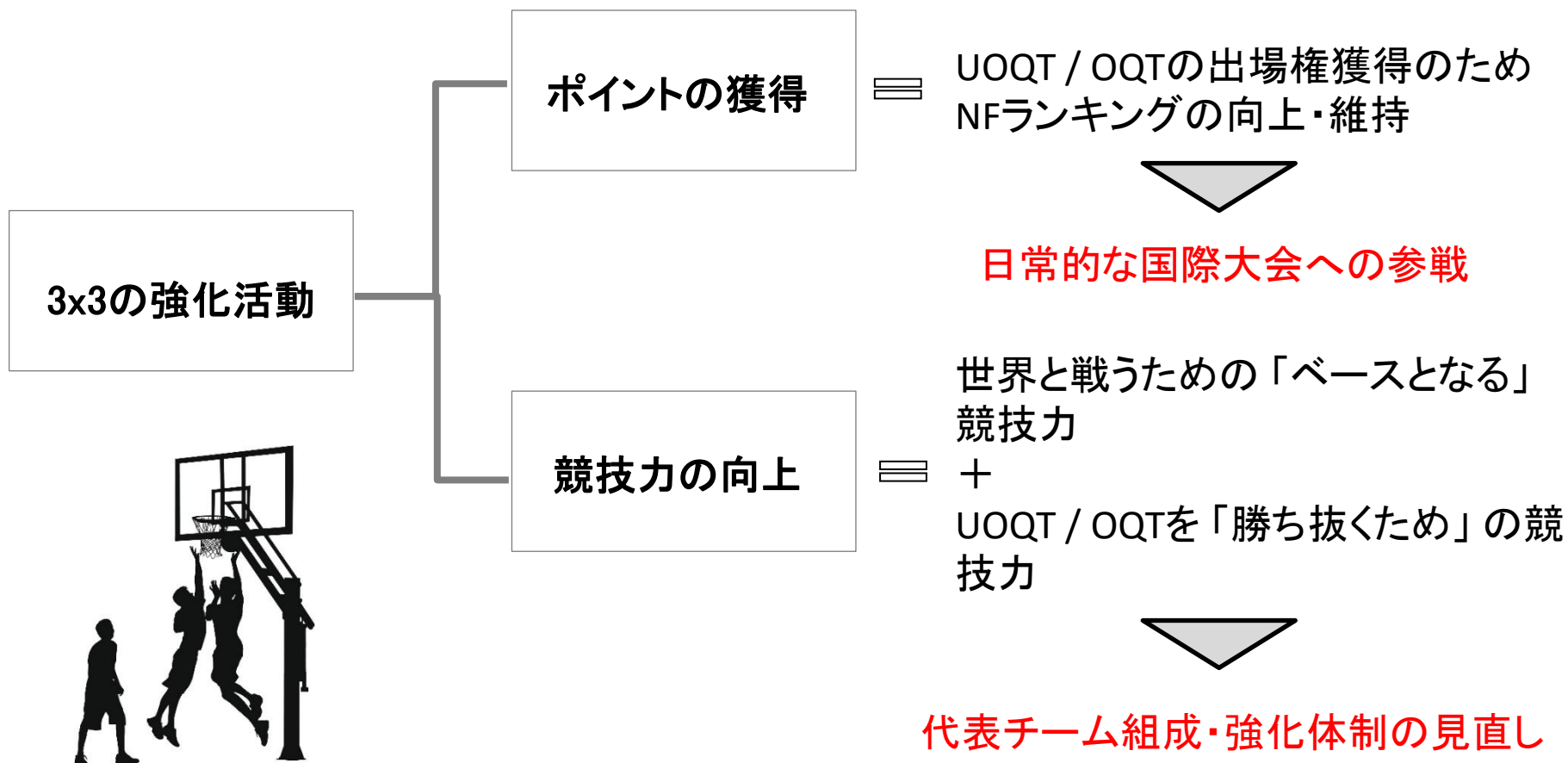
オリンピック出場権獲得の流れ (*パリ2024オリンピックの場合)

【CUT OFF DAY】 **2027年12月1日** (* LA2028オリンピックにおけるNFランキングの算定締切日)
オリンピック開催国枠の適用有無は、FIBAセントラルボードにて別途決定。



【LA2028出場に向けて解決すべき課題】

■ 3x3の『強化』とは？



【LA2028に向けての強化方針】

強化方針 案①

海外コーチの招聘による、世界基準への強化・体制の構築

■現状認識

- ✓ 国内・海外における、3x3コーチング経験が豊富な人材の不足
- ✓ 手探りでのコーチ体制の構築
(日本国内のみならず国際的にも、3x3の強化や指導の方法が確立されていない)
- ✓ 3x3に造詣の深い海外コーチを招聘し、強化を推し進める国の登場・増加
(中国、モンゴル、シンガポール、アゼルバイジャン etc...)



■海外コーチ 招聘の目的

- ✓ 日本代表チームの競技力向上のためのサポート
- ✓ コーチングスタッフのサポート(コーチ育成観点)
- ✓ 海外の基礎・基本スキル、強化プログラム、戦術、トレンド等の伝承
- ✓ 日本国内の3x3の発展 (ポイント獲得方法、国内大会設計、普及活動 等)への助言

＜3x3日本代表チーム
体制イメージ＞



【LA2028に向けての強化方針】

強化方針 案②

世界転戦活動による、競技力の向上とポイントの獲得



施策

FIBA3x3国際大会(≡高グレード大会)への参戦
ワールドカップ、アジアカップ、ネーションズリーグ 等
⇒これまで実施してきた“基本強化活動”

課題

- ✓ FIBA 3x3シーズン(概ね4月～10月)と国内リーグとの日程調整の難しさ
→ 個人ランキング蓄積の難しさ(≡NFランキング向上の難しさ)
- ✓ 3x3競技の特殊性(戦術・継続的な強化活動)への対応の難しさ



施策

世界転戦(基本活動)×**継続性**×**同一メンバー**への移行を目指す

- ・**継続性**=単発での参戦ではなく、ツアー / シリーズを通じた継続参戦
- ・**同一メンバー**=トップリーグの人材のみに頼らない3x3独自の人材発掘および強化。
人材を一定のグループとする継続的かつ集中的強化



施策

(将来的な視野として) FIBA 3x3 国際大会の招致・自国開催による高ポイント獲得

【LA2028に向けての強化方針】

強化方針 ③

U 23カテゴリーを主にした選手発掘と育成



B.LEAGUE / Wリーグとの協力関係を維持しながらも、
3x3競技の専門性・特殊性を考慮し、3x3に特化した
独自かつ継続的な人材発掘・強化育成の体制が必要

= 根本的な人材発掘・強化育成体制の見直し・構築



JBA主催・主管大会の見直し・再編を実施
(※本資料後半にて詳述)



氏名： 前田有香
(Yuka MAEDA)

1984年12月4日生まれ (40歳)
三重県出身

三重県立津商業高等学校 卒業
立命館大学産業社会学部 卒業

[略歴 (*バスケットボール関連のみ 一部抜粋)]

- | | |
|-----------------|--|
| 2007.04－2016.03 | アイシン・エイ・ダブリュ ウィングス入団 (5人制) |
| 2018 | 2018年度 3x3バスケットボール女子日本代表選手 選出 |
| 2018.03 | FIBA 3x3 ASIA CUP SHENZHEN 2018 |
| 2018.05－2023.10 | BEEFMAN.EXE入団 (3人制)
・3x3 日本選手権優勝大会 MVP受賞等 |
| 2022.06－ | Düsseldorf ZOOS入団 (3人制 / ドイツ) プレーヤー兼コーチ
・FIBA 3x3 Women's Series Baku Stop 2023優勝
(シリーズ出場経験は2022年～2024年にかけて) |
| 2023.10－2025.04 | Medical Instinct Veilchen BG 74 (5人制 / ドイツ) アシスタントコーチ |



「このたび、3x3女子日本代表チームのヘッドコーチに就任いたしました前田有香です。

このような貴重な機会をいただき、大変光栄に思っております。これまで3x3 女子日本代表チームが築いてきた歩みを大切にしながら、自身の経験を活かし、進化し続ける世界の3x3を学びつつ、世界で戦えるチームづくりに尽力して参ります。

選手たちが3x3に最大限向き合える環境を整え、チーム一丸となって前進してまいります。

応援してくださる皆様のご期待にお応えできるよう、日々全力で取り組んでまいりますので、今後とも温かいご声援・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます」

3x3 U23 / U21日本代表チーム ディベロップメントキャンプ参加メンバー表

No	氏 名	(LASTNAME, Firstname)	身長	生年月日 (年齢)		所属
1	下川 拓海	(SHIMOKAWA, Takumi)	188	2002/7/5	22	新生紙パルプ商事 / SHINAGAWACC WILDCATS
2	岩屋 頼	(IWAYA, Yori)	183	2003/4/20	22	早稲田大学 / SHINAGAWA CITY 3x3 BASKETBALL CLUB
3	堀 陽稀	(HORI, Haruki)	188	2003/5/13	21	早稲田大学 / SHINAGAWA CITY 3x3 BASKETBALL CLUB
4	坂本 温人	(SAKAMOTO, Haruto)	192	2004/2/20	21	法政大学
5	鍋田 憲伸	(NABETA, Kenshin)	182	2004/4/7	21	法政大学
6	坂口 大和	(SAKAGUCHI, Yamato)	184	2004/5/17	20	中央大学
7	塚田 大聖	(TSUKADA, Taisei)	196	2004/7/1	20	明治大学
8	山田 哲汰	(YAMADA, Tetta)	187	2004/7/17	20	日本大学
9	城戸 賢心	(KIDO, Kenshin)	181	2004/8/29	20	早稲田大学
10	バラダランタホリ 玲依	(BARADARANTAHORI, Lei)	195	2004/9/20	20	大東文化大学
11	八重樫 ショーン龍	(YAEGASHI, Shonryu)	185	2004/10/6	20	白鷗大学
12	坂本 康成	(SAKAMOTO, Kousei)	194	2004/10/12	20	筑波大学
13	石口 直	(ISHIGUCHI, Suguru)	180	2005/1/9	20	中央大学
14	小川 瑛次郎	(OGAWA, Eijiro)	187	2005/10/1	19	白鷗大学
15	布川 稜馬	(NUNOKAWA, Ryoma)	195	2006/5/15	18	大東文化大学
16	松本 泰	(MATSUMOTO, Shin)	192	2006/7/3	18	早稲田大学
—	平 均 (Average)		188.1	20.1		—

※所属・年齢は2025年5月11日現在

3x3 U23 / U21日本代表チーム ディベロップメントキャンプ参加メンバー表

No	氏 名	(LASTNAME, Firstname)	身長	生年月日 (年齢)		所属
1	三田 七南	(SANTA, Nana)	179	2002/10/2	22	ENEOSサンフラワーズ
2	花島 百香	(HANASHIMA, Momoka)	178	2003/4/22	22	ENEOSサンフラワーズ
3	伊波 美空	(IHA, Misora)	167	2003/6/27	21	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ
4	西 ファトゥマ七南	(NISHI, FatoumaNana)	175	2003/10/6	21	早稲田大学
5	田平 真弥	(TAHIRA, Maya)	173	2004/3/12	21	立教大学
6	森 美麗	(MORI, Milai)	180	2004/4/16	21	東京羽田ヴィッキーズ
7	菊地 実蘭	(KIKUCHI, Miran)	175	2004/11/5	20	早稲田大学
8	山宮 好葉	(YAMAMIYA, Konoha)	162	2005/1/4	20	早稲田大学
9	三次 真歩	(MITSUGI, Maho)	169	2005/1/5	20	大阪体育大学
10	門脇 瑚羽	(KADOWAKI, Kohane)	175	2005/1/7	20	東京医療保健大学
11	上野 心音	(UENO, Kokone)	176	2005/1/24	20	筑波大学
12	鈴木 花音	(SUZUKI, Kanon)	174	2006/2/1	19	筑波大学
13	下井 陽和	(SHIMOI, Hiyori)	162	2006/2/2	19	日本女子体育大学
—	平 均 (Average)		172.7	20.5		—

※所属・年齢は2025年5月11日現在

2. 3x3 JAPAN TOURの改編について

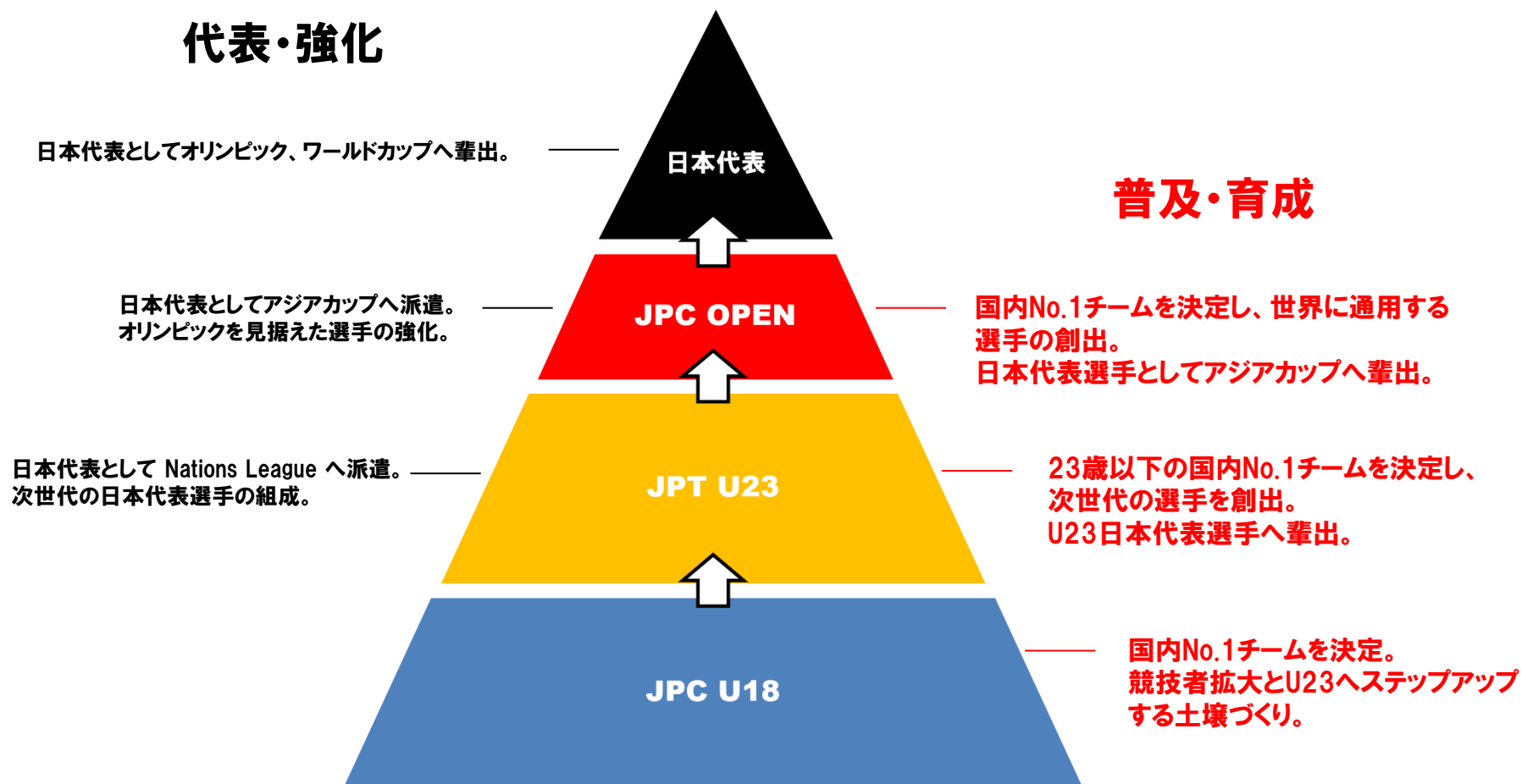
- 改編による普及発掘の拡張・強化の一気通貫化 -

JBA主催大会		日本選手権大会 	ジャパンツアー  JAPAN TOUR
位置付け(目的)		国内最高峰大会 (世界基準プレイヤーの輩出) (トップレフリーの創出)	国内トップツアー大会 (普及とレベルの向上) (トップレフリーの育成)
役割	PBA(都道府県協会)	・予選大会の構築 ・育成強化 ・競技者拡大 ・大会運営の財源	・競技普及へのツール ・競技者拡大へのツール ・競技運営の落とし込み ・日本選手権予選への起爆剤
	競技者	・代表選考の基準 ・競技レベルの向上 ・ポイントランキングの向上 ・世界大会(Quest)の権利	・競技認知 ・競技レベルの向上 ・競技活動資金の提供(賞金) ・ポイントランキングの向上 ・世界大会(Challenger)の権利
	地域	・経済波及効果	・活性化へのツール

日本選手権大会 (JPC) と JAPAN TOUR (JPT) の再編により、
年代ごとに一気通貫の形で代表強化へとつなげる

代表・強化

普及・育成





環境の構築&競技者拡大

エンジョイ思考の競技者を対象とし、下記カテゴリーを実施しながら環境の構築と競技者の拡大を図る

【競技カテゴリー】

- ◆ CHALLENGE・・・エンジョイ大会(高校生以下)
- ◆ OPEN・・・・・・・オープン大会(高校生以上)

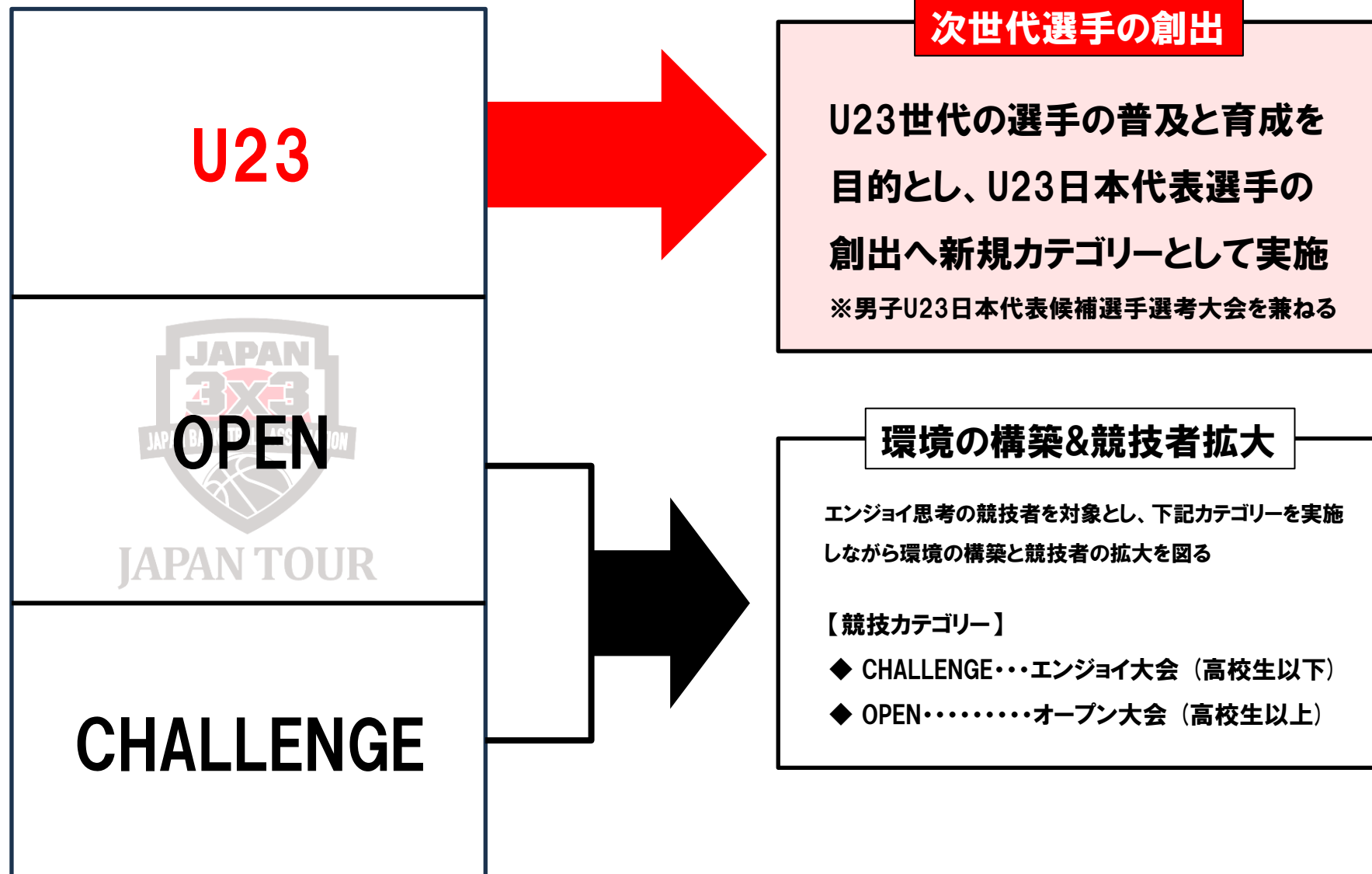
競技レベル向上

FIBA3x3ランキング国内TOP100およびJBA強化指定選手を対象にしたハイレベルな大会を下記カテゴリーにて実施し、競技レベルの向上を図る

【競技カテゴリー】

- ◆ EXTREME・・・トップレベル大会(出場条件あり)

※従来のEXTREMEを廃止し、U23カテゴリーを新設



3x3 JAPAN TOUR 2025 開催スケジュール

開催日	CHALLENGE	OPEN	U23		開催地
7月26日 (土)	U15 or 18	Women / Men			神奈川 / ※会場調整中
7月27日 (日)			Round.1	Men	
8月23日 (土)	U18	Women / Men			福岡 / JR博多シティ
8月24日 (日)			Round.2	Men	
9月13日 (土)	U15 or 18	Women / Men			東京 / 上野恩賜公園噴水広場
9月14日 (日)			Round.3	Men	
11月調整中	U15 or 18	Women / Men			※調整中
			Round.4	Men	
1月調整中	U15 or 18	Women / Men			※調整中
			Round.5	Men	
2月調整中			FINAL	Men	※調整中

※表内記載は2025年5月11日現在

※今季開催地については、全国からの交通アクセスを考慮のうえ、開催エリア・会場を一部調整中。

※多くのU23世代の発掘及び普及を目的とし、そのアンテナを広げるために各地区都道府県協会および各地区学生連盟等へのラウンド主管権付与を必要に応じて実施。

■U23カテゴリー出場チーム数 (案):

Regular Round

募集チーム: 各ラウンド 12チーム
 出場資格: 2025年1月1日時点で18歳以上
 出場権: 主管者による責任抽選



JPT U23 FINAL

16チーム
 (ストレートイン10チーム (各ラウンド上位2チーム)
 + ツアーポイント上位6チーム)

3. その他（補足事項）

- 3x3 日本選手権大会（U18 / OPEN）の改編について -

都道府県予選大会(Round.1)

北海道・東北・関東エリア
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神山
海森手城田形島城木馬玉葉京奈梨
道

北信越・東海・近畿エリア
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
長新富石福岐静愛三滋京大兵奈和
野潟山川井阜岡知重賀都阪庫良歌
山

中国・四国・九州エリア
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47
鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖
取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎
島

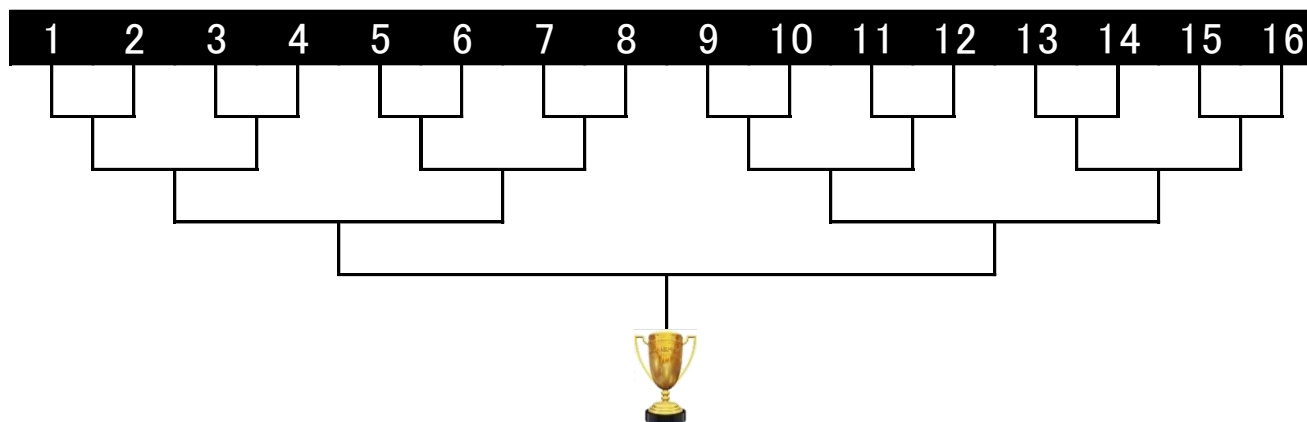
エリア予選大会(Round.2)

5チーム

5チーム

6チーム

CHAMPIONSHIPS FINAL



3x3日本代表チームの強化方針、および JAPAN TOUR の改編に伴い、以下の目的により、日本選手権の大会・予選方式を2026年度より変更する。

※詳細については、大会要項が固まった段階にて、あらためて詳細説明を行う。

◆ U18カテゴリー

都道府県からファイナルラウンドへ直結させることにより、全国から一堂に会して日本一を決定する世界観を体感し、大会価値をより一層向上させる。

◆ OPENカテゴリー

日本選手権出場選手から **FIBA アジアカップ**への日本代表候補選手を選出することにより、ハイレベルな選手の出場を促す。

予選を **STOP** 方式に変更することで全国から何度でも予選にチャレンジできる形態とし、人材発掘のアンテナを広げる。

■フォーマット変更点 概略

U18カテゴリー

- ・従来のエリア大会 (2次ラウンド) を廃止し、
47都道府県予選からファイナルラウンドへのストレートインとする。
- ・上記47チーム (都道府県代表) に前年度選手権優勝チームを
加えた男女各48チームでファイナルラウンドを開催する。

OPENカテゴリー

- ・都道府県予選の概念を廃止。他大会に選手権出場権を紐づけ (STOP制
とし)、何度でも選手権出場権の獲得に挑戦できる形に。
- ・日本選手権大会出場チームは16チーム。
全国から公募した15 STOP (大会) + JAPAN TOUR U23 カテゴリーの
各優勝チームに選手権出場権を付与する。



3x3バスケットボールへのご理解・ご声援を
よろしくお願いいたします